

# 地域別構想の検討(2)

## 【目次構成】

地域別構想とは .....	2
地域別構想の検討の進め方 .....	4
「私らしい暮らし」と「にぎわい・活力」の違い .....	5
テーマ【私らしい暮らし】に対する地域の取組検討 ....	9
テーマ【にぎわい・活力】に対する地域の取組検討 ...	23



# 地域別構想とは・・・

地域別構想は、全体構想における将来像及び各テーマの方針・取組をもとに、その実現に向けた市内5つの地域における「**地域づくりの目標**」と「**地域づくりの取組**」を示すものです。

## 全体構想

- 朝霞市の将来像
- 将来都市構造
- 将来像の実現に向けた5つのテーマ別方針



## 地域別構想

【**地域づくりの目標**】

将来像・方針図



【**地域づくりの取組**】

5つのテーマに対する  
地域別の取組



# 地域別構想とは・・・

## 【地域別構想の構成(案)】

1. 地域区分の設定
2. 内間木地域
3. 北部地域
4. 東部地域
5. 西部地域
6. 南部地域

### <各地域の構成>

#### (1)地域の概要

(2)地域に関する評価（地域の良いところ、改善すべきところの整理）

#### (3)地域づくりの目標

- ① 将来像
- ② 方針図

#### (4)地域づくりの取組

- ① テーマ「私らしい暮らし」
- ② テーマ「にぎわい・活力」
- ③ テーマ「快適な移動」
- ④ テーマ「自然・環境」
- ⑤ テーマ「安全・安心」

### <取組内容の記載方針>

- ・ 全体構想における各テーマの取組をベースとして、地域の現況分析や地域の意見等を参考に、地域の状況に応じた個別の取組を記載します（場所が特定されない取組については、全体構想で対応します）



# 地域別構想の検討の進め方

テーマに対する地域別の取組は、**5つのテーマごとに地域別の違いを見比べながら検討**していきます。今回は、残りのテーマ**「私らしい暮らし」、「にぎわい・活力」**について検討します。

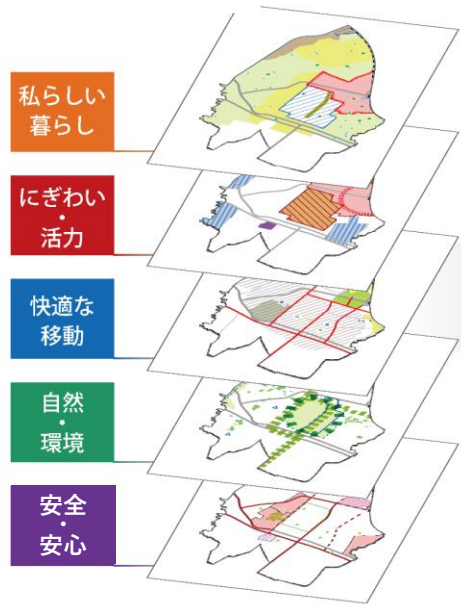
各地域の地域づくりの目標(将来像・方針図)は、全体構想と同様、**5つのテーマに対する地域別の取組を重ね合わせ、取組の重複や重要性が高い等の大事なポイントの再整理により設定**をします。

## ■今回と次回に検討するテーマ

テーマ		地域				
		内間木	北部	東部	西部	南部
価値	私らしい暮らし	今回の検討テーマ				
	にぎわい・活力					
	快適な移動	前回の検討テーマ				
土台	自然・環境					
	安全・安心					

## ■地域づくりの目標設定の考え方 (南部地域を例としたイメージ)

各テーマの  
地域別の取組



各テーマの方針図を重ね合わせ、  
取組の重複や重要性が高い等の  
大事なポイントを再整理

今回提示

地域づくりの目標  
(将来像+方針図)

# 「私らしい暮らし」と「にぎわい・活力」の違い

今回対象とする2テーマ「**私らしい暮らし**」、「**にぎわい・活力**」は関わり合いが強いテーマです。本計画では**取組の対象の違い**をもとに書き分けをしています。

## にぎわい・活力

### <対象>

- 産業（商業、工業、物流、観光等）
- 来街者（目的をもって訪れる人）

### <取組のイメージ>

- 産業の活性化による持続的なにぎわいや活力の創出
- ウォーカブルな空間の整備と活用
- 立地特性を活かした戦略的な産業の誘致・育成
- 自然環境や文化・歴史的資源を生かしたにぎわいづくり
- 既存ストックを活用した地域経済の活性化（商店街等）

## 私らしい暮らし

### <対象>

- 市民の暮らし
- 朝霞に通勤・通学してくる方（日常的に朝霞にいる方）

### <取組のイメージ>

- 選択できる住環境づくり
- 暮らしの質を高める
- 多様な方々と交流できる場づくり
- 居心地よく過ごせる場づくり
- 自分らしく活躍できる機会づくり



# 「私らしい暮らし」と「にぎわい・活力」の違い

(参考)2つのテーマのストーリー

## にぎわい・活力とは・・・

人やモノや情報が集まり、にぎわいと交流の拠点づくりを進めることで、都市の魅力向上や産業の活性化を促進することにより、市民が誇れる朝霞市を目指します。

市の中心拠点である駅周辺や商店街など、にぎわいが生まれやすい場所の活力を高めます。また、安全で楽しく歩きやすい歩行空間となるよう、ウォークブルな空間の整備と活用を進めます。

地元産業が活性化し、また、持続できる環境を確保することにより、持続的なにぎわいや活力の創出を図ります。

国道254号や国道254号バイパスの沿道などは流通の面での立地特性を生かし、大規模な工場跡地などは産業用地としての立地特性を生かして、新たな産業の誘致と育成を図ります。

黒目川や基地跡地、川越街道の宿場等の自然環境や歴史・文化資源を活かしたにぎわいづくりを図るとともに、地域の商店街等の潜在するポテンシャルを活用した地域経済の活性化を図ります。



# 「私らしい暮らし」と「にぎわい・活力」の違い

(参考)2つのテーマのストーリー

## 私らしい暮らしとは…

都心近郊の都市でありながら、武蔵野台地や河川などの豊かな自然が残る、多様な住環境は朝霞市の魅力の一つです。

市内には、利便性の高い市街地や自然環境を生かした住環境など、それぞれ特色のある地域が共存しており、選択できる住環境の多様性を伸ばしていきます。

多様な文化に触れたり、利便性・快適性を高めたりして暮らしの質(QoL=Quality of Life)を高めるため、朝霞市民全体のためのサービスと地域それぞれの日常生活を支えるサービスの両面から、それらを提供する都市機能の充実を図っていきます。また、都市機能を整備、更新していくために既存のストックも活用しながら賢く確保していきます。

私らしい暮らしを実現するためには、住まいやその周辺環境だけでなく、他者と触れ合える場や私らしくいられる場、私らしく輝ける機会も必要であることから、多様な方々と交流できる場や居心地よく過ごせる空間、活躍できる機会を創出していきます。







# 5つのテーマに対する 地域別の取組

私らしい暮らし

にぎわい・活力

快適な移動

自然・環境

安全・安心



全体構想におけるテーマ【にぎわい・活力】の方針と方針の実現に向けた取組

<方針>

四季折々のイベントが充実し笑顔が絶えないワクワクするまち、  
鉄道駅や道路ネットワークを生かした活力のあるまちを目指します。

<方針の実現に向けた取組>

■にぎわいと活力のある  
駅前拠点をつくる

- ① 朝霞駅周辺の活気あるまちづくり
- ② 北朝霞駅・朝霞台駅周辺の活気あるまちづくり
- ③ 誰もが楽しく歩ける空間の整備

■産業活動ができる環境を  
整える

- ④ 工業系地域における、居住環境にも配慮した生産環境の確保
- ⑤ 企業と住民で共につくる地域経済の活性化
- ⑥ 立地特性を活かした戦略的な産業の誘致・育成

■地域資源を生かして活力  
を創出する

- ⑦ 自然環境や歴史・文化資源を生かしたにぎわいづくり
- ⑧ 潜在するポテンシャルを活用した地域経済の活性化

### 5つの地域の違いや特徴

#### 【北部地域】

- 北朝霞・朝霞台駅を中心とした商業地が形成されている
- 朝霞台駅舎の建替に合わせたにぎわい空間の創出が期待される
- 北朝霞駅西口ロータリーの広場化が予定されている
- 黒目川や浄水場等の地域資源の存在
- ▲浄水場によりまちが分断されている

#### 【西部地域】

- 朝霞台駅舎の建替に合わせたにぎわい空間の創出が期待される
- 工業系用途地域が指定され、工場や企業が立地している
- 黒目川や旧川越街道等の地域資源の存在
- ▲駅から離れた商店街の店舗の減少
- ▲商店街活動の衰退

#### 【南部地域】

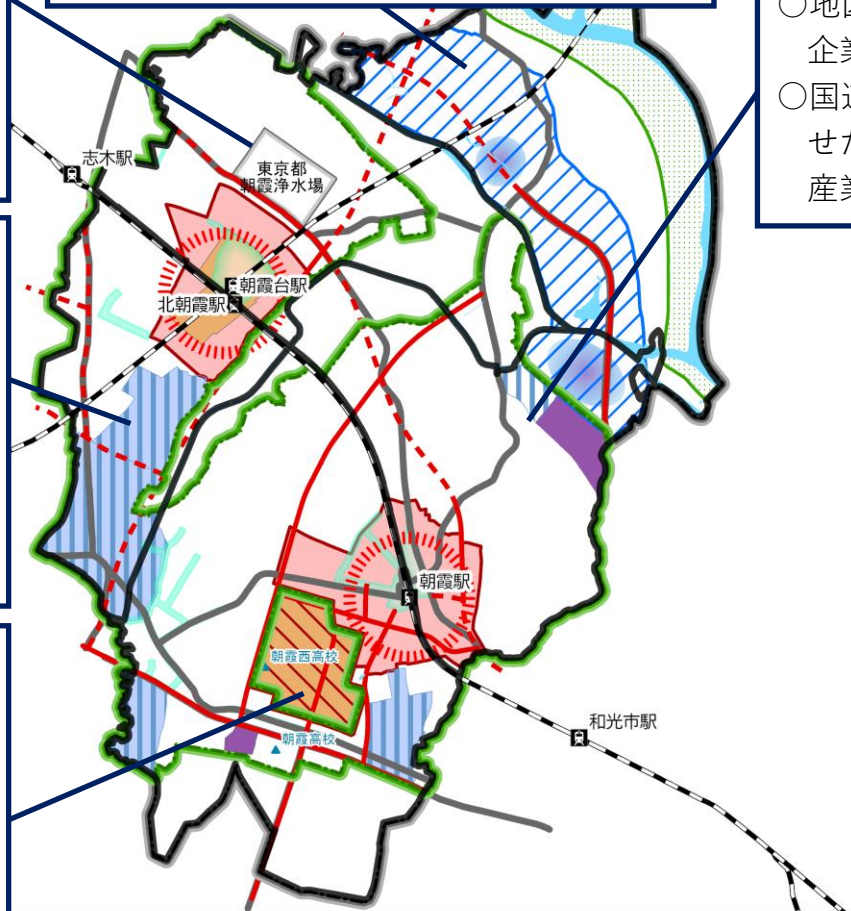
- 朝霞駅を中心とした商業地が形成
- 駅周辺や商店街、シンボルロード、朝霞の森等を活用したイベント（ASAKA STREET TERRACE）の実施
- 川越街道や坂の多い地形などの地域資源の存在
- ▲駅から離れた商店街の店舗の減少

#### 【内間木地域】

- 国道254号バイパスの整備と併せた沿道土地利用の促進と丸沼芸術の森や、朝霞調整池、朝霞水門などの地域資源によるにぎわい・活力の創出が期待される
- ▲工場は多いが店舗は少ない

#### 【東部地域】

- 朝霞駅を中心とした商業地が形成されている
- 地区内には大型商業施設や大学、企業等が立地している
- 国道254号バイパスの整備と併せた沿道土地利用の促進による産業用地の創出が期待される



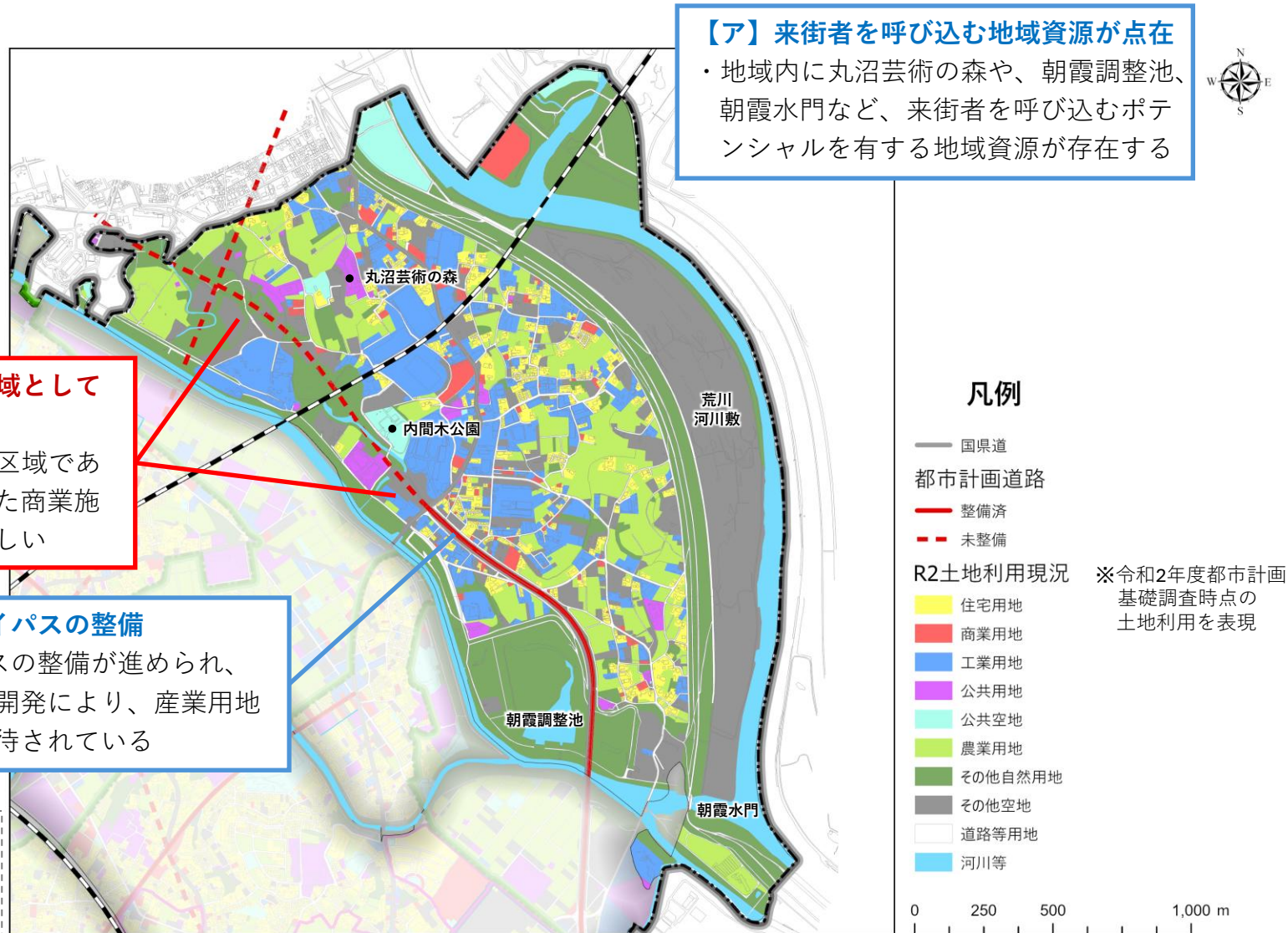
#### 凡例

- 市街化区域
- 地域区分
- にぎわいと活力の創出を図る拠点
- 国県道
- 都市計画道路
- 整備済
- 未整備
- 自然と利便性調和ゾーン
- 利活用の核となるエリア
- 荒川近郊緑地保全地区
- 商店街
- 都市機能誘導区域
- 基地跡地
- にぎわいと活力の創出を図るエリア
- 企業と住民で共に作る地域経済の活性化を図るエリア
- 立地特性を活かした地域経済の活用を図るエリア
- 工業系用途地域
- 河川等

0 500 1,000 2,000 m

【凡例】 ○ 良いところ ▲ 改善すべき課題

### <現状・課題>

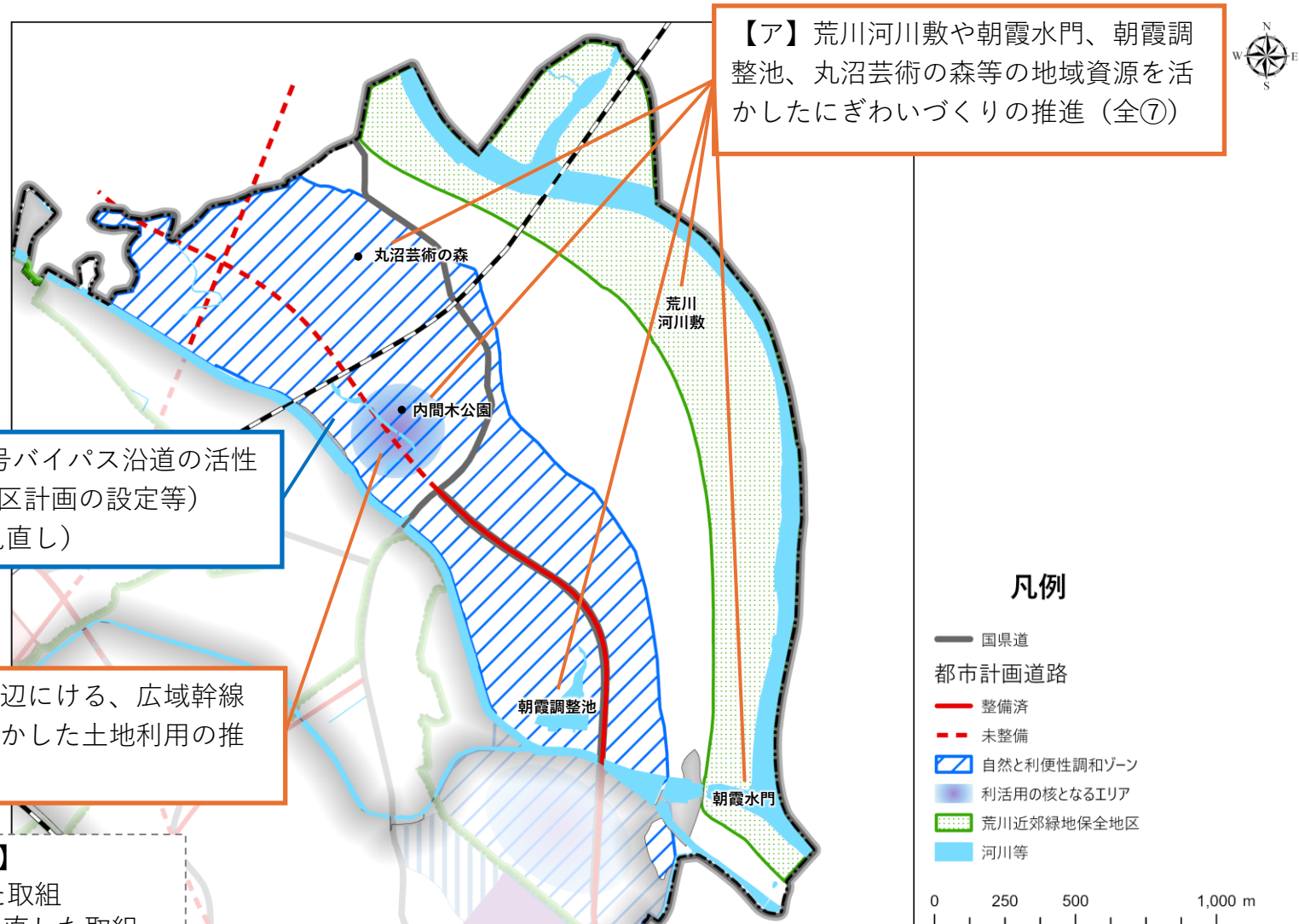


### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。



### <現状・課題>

#### 【ア】商店街における商業用地が少ない

- ・朝志ヶ丘地区の商店街において主となる土地利用が住宅用地となっている
- ・空き地となっている箇所もみられる

#### 【エ】浄水場による地域の分断

- ・地域中央部に浄水場が立地しているが、地域に開かれた空間ではなく、地域の分断要因となっている

#### 【オ】駅を中心に都市機能が集積

- ・駅周辺は交通の利便性が高く、店舗や医療施設などの都市機能が一定程度集積している

#### 【イ】地区計画による計画的な土地利用の誘導

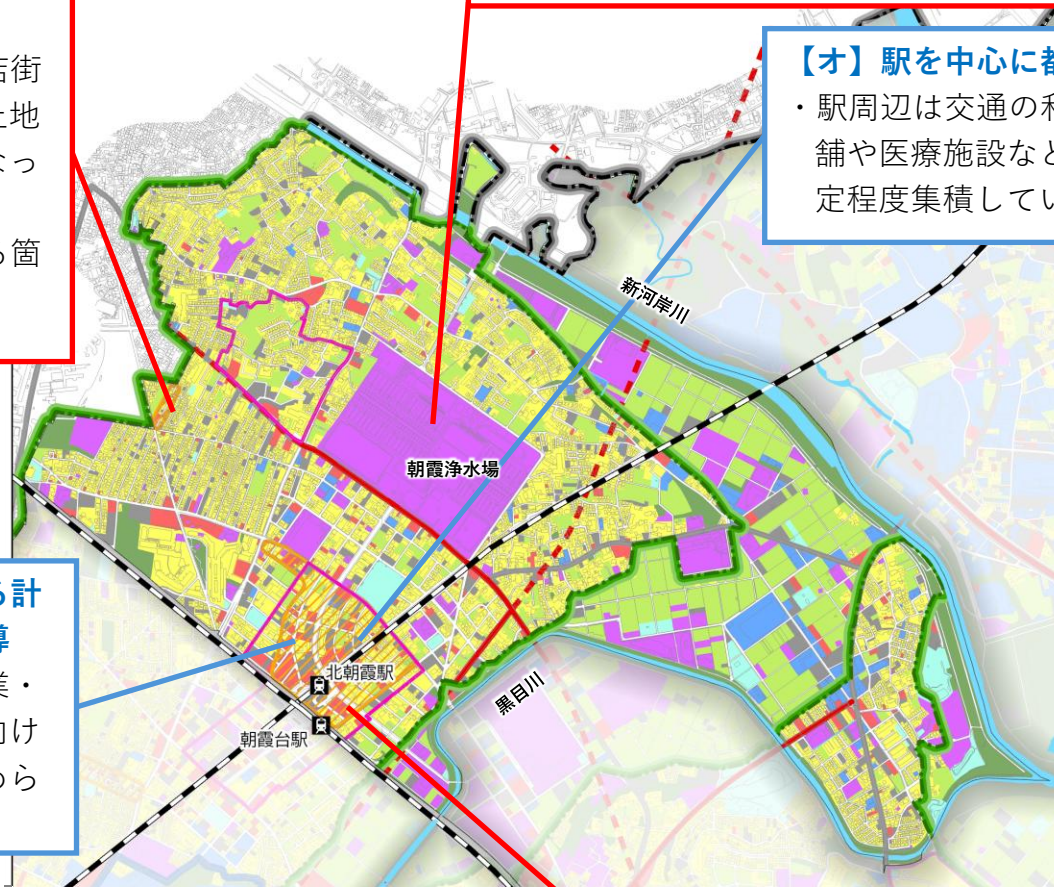
- ・地区計画により商業・業務空間の充実に向けたまちづくりが進められている

#### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ

#### 【ウ】駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない

- ・駅周辺では、公園や黒目川などの公共空間があるものの、効果的に活用されていなく、居場所となっていない



#### 凡例

- 市街化区域
- 国県道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- 地区計画を定めているエリア
- 商店街
- R2土地利用現況 ※令和2年度都市計画基礎調査時点の土地利用を表現
  - 住宅用地
  - 商業用地
  - 工業用地
  - 公共用地
  - 公共空地
  - 農業用地
  - その他自然用地
  - その他空地
  - 道路等用地
  - 河川等

0 250 500 1,000 m





＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】朝志ヶ丘地区に形成されている地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援（現①-3／全⑧）

【イ】駅周辺での地区計画（壁面後退、用途制限）を活用したにぎわい・魅力ある空間の創出（全②／現①-1の見直し）

【ウ】北朝霞駅西口ロータリーの広場化整備（全②）

【ウ】朝霞台駅舎建て替えに合わせたにぎわい空間の創出（全②）

【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

【エ】地域資源（黒目川や浄水場、北朝霞公園等）を活かしたイベントの実施等官民連携でまちづくりの推進（サロン／全②⑤⑦）

【オ】駅周辺におけるバリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能強化や、人中心のウォークアブルな空間の確保（全③）



凡例

- 市街化区域
- にぎわいと活力の創出を図る拠点
- 国県道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- 商店街
- 都市機能誘導区域
- にぎわいと活力の創出を図るエリア
- 河川等

0 250 500 1,000 m

【ウ】駅周辺の公共空間を活用したイベントの実施や黒目川周辺のイベントとの連携（全②）

# テーマ【にぎわい・活力】に対する地域の取組検討

東部地域

## <現状・課題>

### 【ア】商店街における商業用地が少ない

- ・商店街において主となる土地利用が住宅用地となっている
- ・空き地となっている箇所もみられる

### 【イ】駅周辺におけるにぎわい創出のポテンシャル

- ・主要駅である朝霞駅周辺の空地等を活用し、にぎわい創出のポテンシャルがある

### 【ウ】駅を中心に都市機能が集積

- ・駅周辺は交通の利便性が高く、店舗や医療施設などの都市機能が一定程度集積している

### 【凡例】

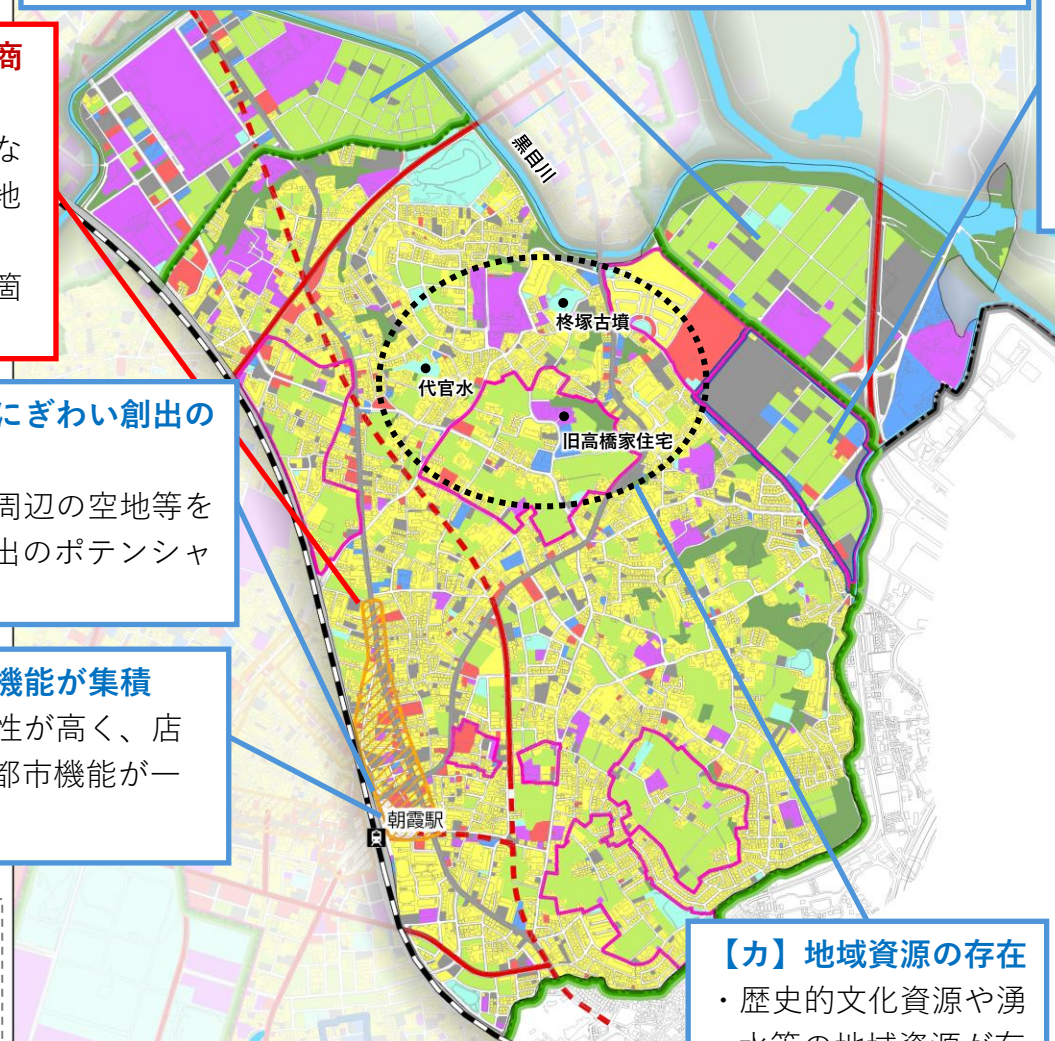
- 改善すべき課題
- 良いところ

### 【エ】市街化調整区域における有効な土地利用

- ・黒目川沿川には医療施設や大学、公共施設などが立地している
- ・国道254号バイパス周辺は土地利用の可能性を有している

### 【オ】工業系土地利用を進めるように準備

- ・国道254号バイパスの整備を見据え、工業系土地利用を図るために適切な用途地域や地区計画が定められている



### 凡例

- 市街化区域
- 国県道
- 都市計画道路
- 整備済
- 未整備
- 地区計画を定めているエリア
- 商店街
- 工業系用途地域

R2土地利用現況 ※令和2年度都市計画基礎調査時点の土地利用を表現

- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公共用地
- 公共空地
- 農業用地
- その他自然用地
- その他空地
- 道路等用地
- 河川等

0 250 500 1,000 m

### 【カ】地域資源の存在

- ・歴史的・文化資源や湧水等の地域資源が存在する



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】 仲町地区など地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援  
(現①-2 / 全①⑧)

【エ】 地域内に立地する企業や教育施設等との連携・協働による地域経済の活性化の実現 (サロン／全⑤)

【エ】 国道254号バイパス沿道の活性化に向けた検討 (市街化編入など) (全⑥)

【オ】 広域幹線道路沿道の特性を活かした産業用地の創出 (全⑥)

【イ】 駅周辺における既存ストックを活用した都市機能の充実を図るとともに、建物1階部分のオープン化により歩いて楽しい空間の形成 (サロン／全①or③)

【ウ】 駅周辺におけるバリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能強化や、人中心のウォーカブルな空間の確保 (全③)

### 【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

【カ】 地域の資源 (歴史的文化資源や湧水等) を活かしたイベント等の実施 (サロン／全②⑤)



### 凡例

- 市街化区域
- にぎわいと活力の創出を図る拠点
- 国道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- 自然と利便性調和ゾーン
- 利活用の核となるエリア
- 商店街
- 都市機能誘導区域
- 企業と住民で共に作る地域経済の活性化を図るエリア
- 立地特性を活かした地域経済の活用を図るエリア
- 河川等

0 250 500 1,000 m

### <現状・課題>

#### 【ア】商店街における商業用地が少ない

- ・商店街において商業用地がほとんどみられず、主となる土地利用が住宅用地となっている
- ・空き地となっている箇所もみられる

#### 【イ】工業系用途地域における住工混在

- ・工業系用途地域において、住宅用地が多くみられ、住工混在となっている

#### 【ウ】市内に企業が多く立地

- ・企業が多く立地しており、民間企業と連携したまちづくりを図るポテンシャルがある

#### 【エ】農地や斜面林などの地域資源の存在

- ・農地や斜面林、黒目川などの地域資源を有している

#### 【オ】駅を中心に都市機能が集積

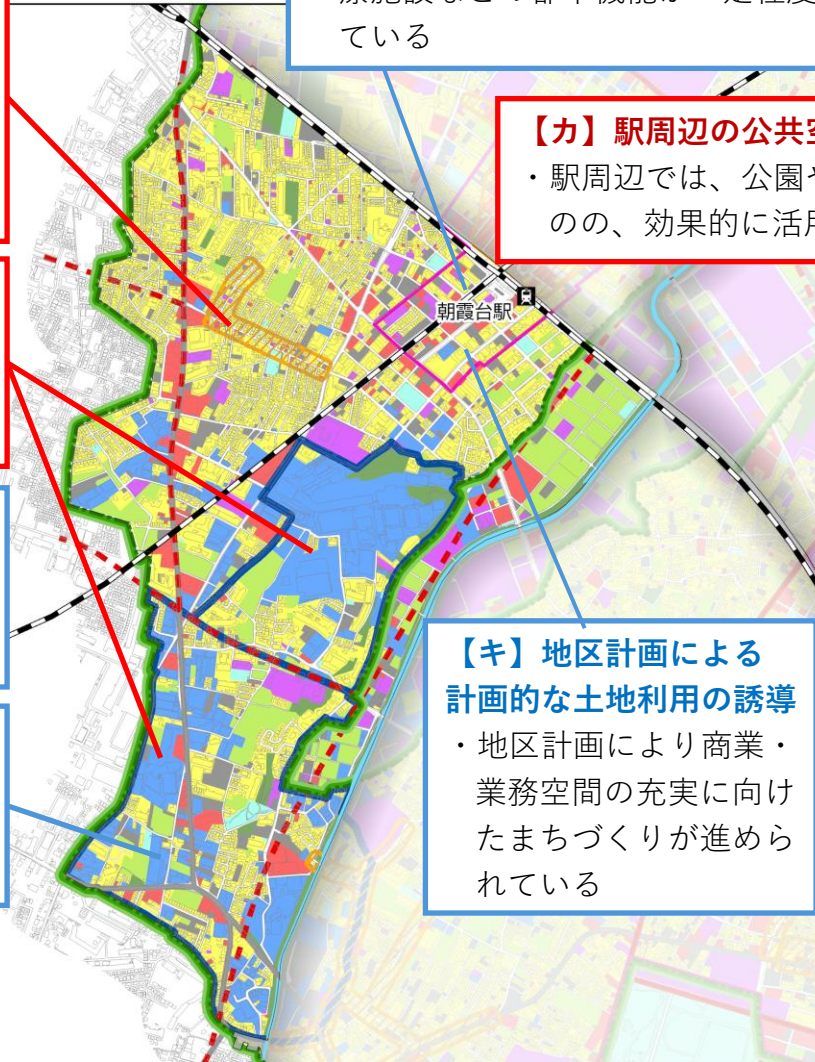
- ・駅周辺は交通の利便性が高く、店舗や医療施設などの都市機能が一定程度集積している

#### 【カ】駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない

- ・駅周辺では、公園や黒目川などの公共空間があるものの、効果的に活用されていない

#### 【キ】地区計画による計画的な土地利用の誘導

- ・地区計画により商業・業務空間の充実に向けたまちづくりが進められている



### 凡例

- 市街化区域
- 国県道
- 都市計画道路
- 整備済
- 未整備
- 地区計画を定めているエリア
- 商店街
- 工業系用途地域
- R2土地利用現況 ※令和2年度都市計画基礎調査時点の土地利用を表現
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公共用地
- 公共空地
- 農業用地
- その他自然用地
- その他空地
- 道路等用地
- 河川等

0 250 500 1,000 m

### 【凡例】

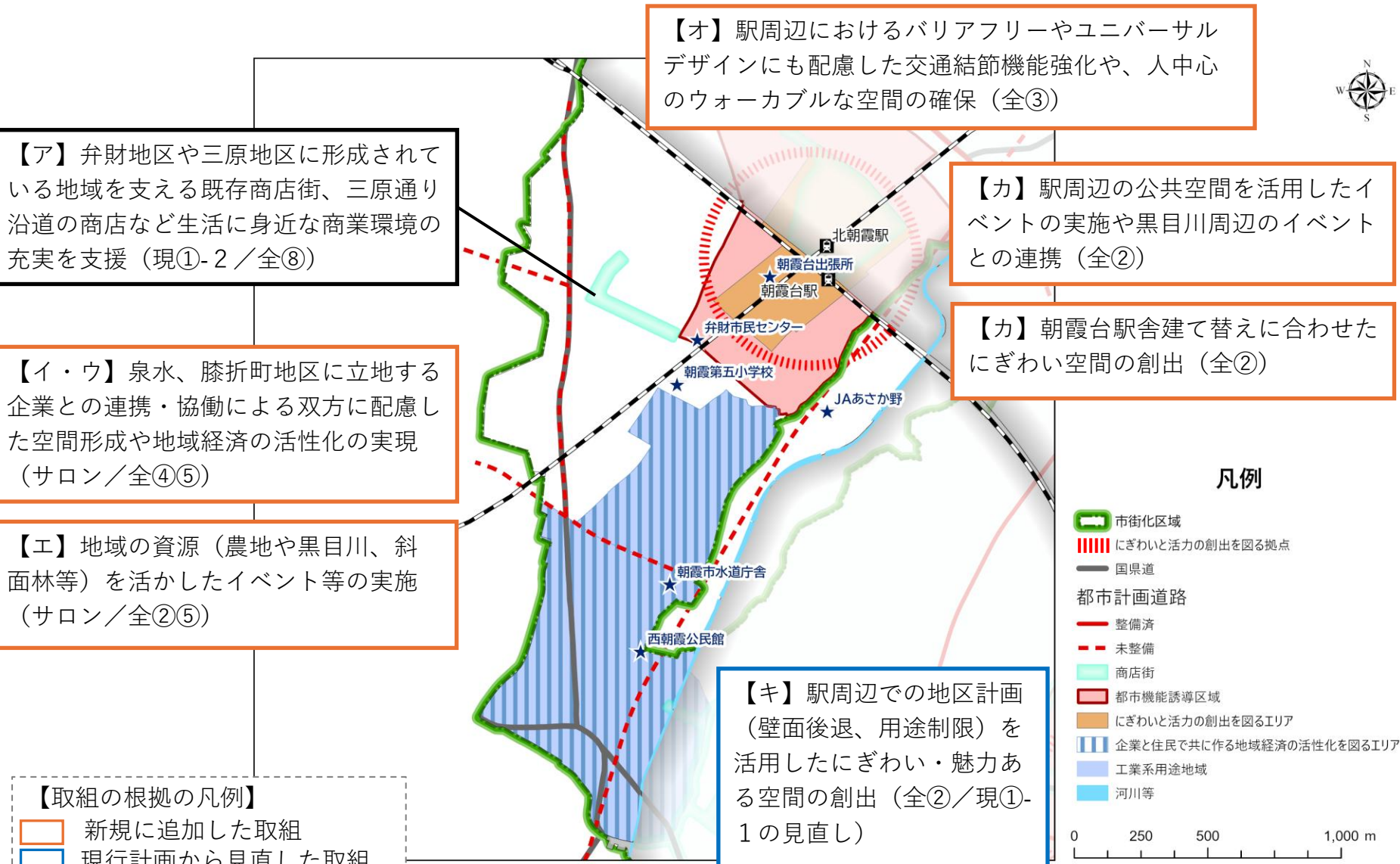
- 改善すべき課題
- 良いところ



# テーマ【にぎわい・活力】に対する地域の取組検討

西部地域

＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。



### <現状・課題>

#### 【ア】商店街における商業用地が少ない

- ・商店街において商業用地がほとんどみられず、主となる土地利用が住宅用地となっている
- ・空き地となっている箇所もみられる

#### 【イ】基地跡地がある

- ・基地跡地を活かし、にぎわい創出のポテンシャルがある

#### 【ウ】旧川越街道等の地域資源の存在

- ・街道筋としての歴史的・文化的資源が存在する

#### 【エ】工業系用途地域における住工混在

- ・工業系用途地域において、住宅用地が多くみられ、住工混在となっている

#### 【凡例】

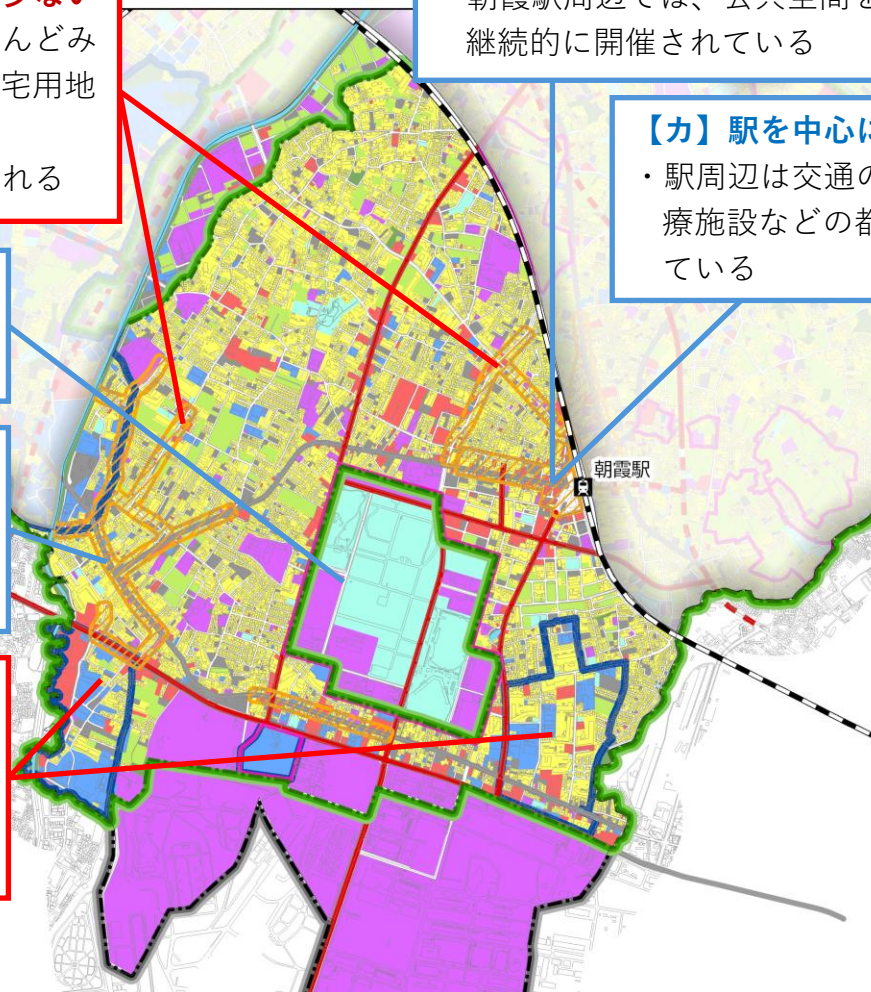
- 改善すべき課題
- 良いところ

#### 【オ】駅周辺にまちづくりに関するイベントが開催

- ・朝霞駅周辺では、公共空間を活用したイベントが継続的に開催されている

#### 【カ】駅を中心に都市機能が集積

- ・駅周辺は交通の利便性が高く、店舗や医療施設などの都市機能が一定程度集積している



#### 凡例

- 市街化区域
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- 地区計画を定めているエリア
- 商店街
- 工業系用途地域
- R2土地利用現況 ※令和2年度都市計画基礎調査時点の土地利用を表現
  - 住宅用地
  - 商業用地
  - 工業用地
  - 公共用地
  - 公共空地
  - 農業用地
  - その他自然用地
  - その他空地
  - 道路等用地
  - 河川等

0 250 500 1,000 m

#### 【キ】川越街道が存在

- ・川越街道は交通条件が良く、朝霞警察署跡地などを含め、沿道の更なるにぎわい創出の可能性はある



# テーマ【にぎわい・活力】に対する地域の取組検討

南部地域

＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】 膝折町、幸町、本町、栄町など地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援（現①- 1 / 全①）

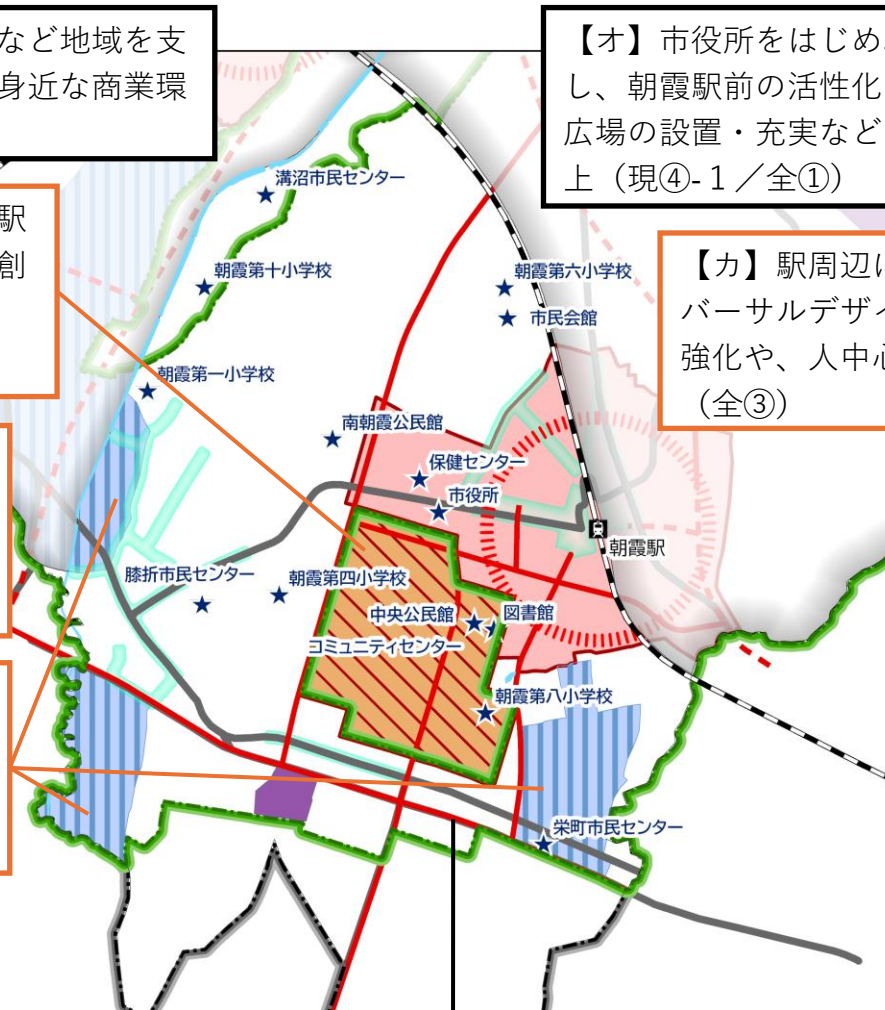
【イ】 基地跡地周辺における朝霞駅周辺と一体的なにぎわいや活力の創出に向けた官民連携の取組の推進（全①）

【ウ】 膝折町や溝沼など地域資源（宿場町の歴史や坂が多い地形等）を活かした空間づくり（サロン／全①）

【エ】 膝折町や栄町などに立地する企業との連携・協働による双方に配慮した空間形成や地域経済の活性化の実現（全④）

【オ】 市役所をはじめ、主要な公共施設の立地を活かし、朝霞駅前の活性化と連動した回遊性の高い歩道・広場の設置・充実などにより中心拠点としての魅力向上（現④- 1 / 全①）

【カ】 駅周辺におけるバリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能強化や、人中心のウォークブルな空間の確保（全③）



凡例

- 市街化区域
- にぎわいと活力の創出を図る拠点
- 国県道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- 商店街
- 都市機能誘導区域
- 基地跡地
- にぎわいと活力の創出を図るエリア
- 企業と住民で共に作る地域経済の活性化を図るエリア
- 立地特性を活かした地域経済の活用を図るエリア
- 工業系用途地域
- 河川等

0 250 500 1,000 m

【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

【キ】 川越街道（国道254号）や旧川越街道の交通条件と地理的優位性を活かし、朝霞警察署跡地などを含め、沿道のにぎわい創出に向けた土地利用の誘導（現①- 3 / 全⑥）



# 5つのテーマに対する 地域別の取組

私らしい暮らし

にぎわい・活力

快適な移動

自然・環境

安全・安心



### 全体構想におけるテーマ【私らしい暮らし】の方針と実現に向けた取組

#### <方針>

自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを活かし、  
私らしくいきいきと暮らせるまちを目指します。

#### <方針の実現に向けた取組>

##### ■市街地と自然をつなぐ、 選択肢のある住環境を整える

- ① 歩いて暮らせる駅近な地域づくり
- ~~② 駅とみどりをつなぐ、公共交通で移動しやすい地域づくり~~
- ② 利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり
- ③ みずとみどりに恵まれた  
~~穏やかな~~地域づくり

##### ■暮らしを支える生活 サービスの質を高める

- ④ 市民サービスを支える広域型都市機能の充実
- ⑤ 地域生活サービスを支える地域型都市機能の充実
- ⑥ 既存の土地や建物を活用した柔軟な機能確保

##### ■私らしくいられる場や活躍できる場をつくる

- ⑦ オープンスペースの創出と利活用
- ⑧ 私らしく働く場、活躍できる場の確保
- ⑨ 共創による新たな価値の発掘





### 5つの地域の違いや特徴

#### 【北部地域】

- 北朝霞・朝霞台駅周辺での地区計画により商業・業務環境の形成
- 北朝霞駅西口ロータリーの広場化
- 農地や斜面林が残され、利便性と自然が調和した地域が形成されている
- ▲浄水場が立地するが閉鎖的
- ▲住宅密集地における住環境の確保

#### 【西部地域】

- 朝霞台駅周辺での地区計画により商業・業務環境の形成
- 農地や斜面林が残され、利便性と自然が調和した地域が形成されている
- 福祉等複合施設の整備
- ▲住宅密集地における住環境の確保

#### 【南部地域】

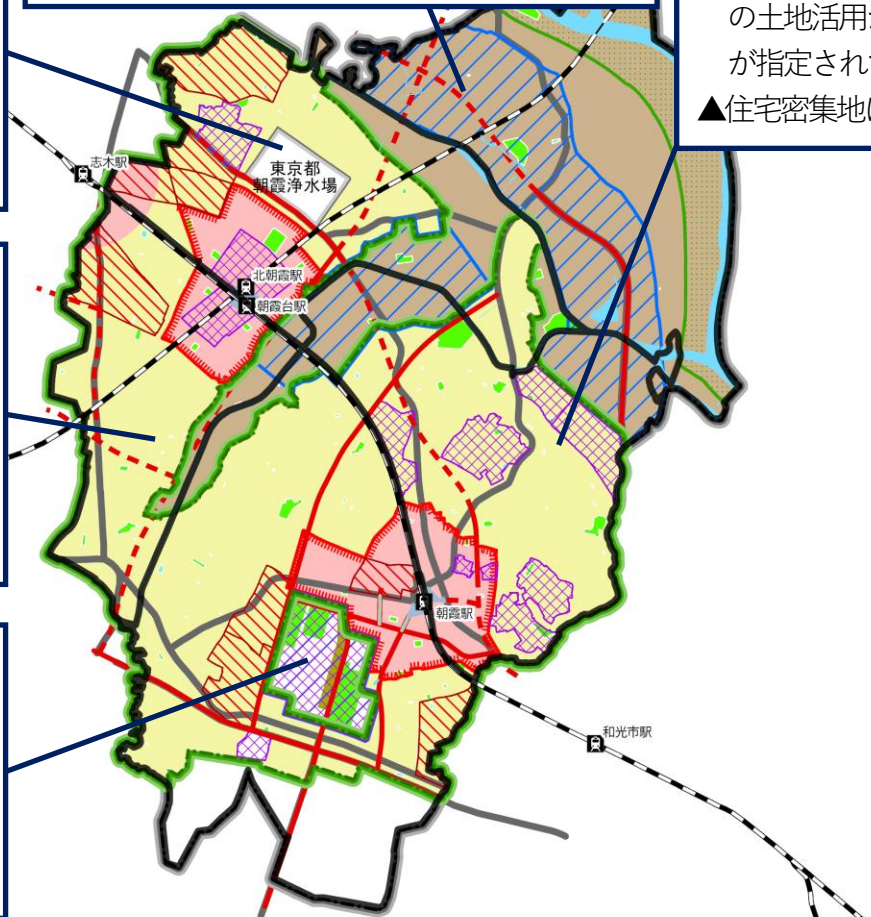
- 朝霞駅周辺には生活に必要な機能が充実している
- 朝霞駅や基地跡地周辺の公共施設を活用したイベントの実施
- ▲住宅密集地における住環境の確保

#### 【内間木地域】

- 国道254号バイパスの整備と併せて、地域の活性化に資する沿道土地利用が期待される
- 地域全体が市街化調整区域に指定され、みずとみどりに恵まれた地域が形成されている
- ▲公共施設が少ない

#### 【東部地域】

- 朝霞駅周辺には生活に必要な機能が充実している
- 農地や斜面林が残されており、利便性と自然が調和した地域が形成されている
- 河川沿いの市街化調整区域は、大学や病院等の都市機能維持や、国道254号バイパス沿道での土地活用が期待される都市機能補完ゾーンが指定されている
- ▲住宅密集地における住環境の確保



#### 凡例

- 市街化区域
- 地域区分
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 荒川近郊緑地保全地区
- 国道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
  - オープンスペースの創出に向けた整備を図る道路
  - オープンスペースの創出に向けた整備を図る駅前広場
- 都市機能誘導区域
- 都市機能補完ゾーン
- シンボルロード
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよいくらしゾーン
- 自然と共生ゾーン
- 河川等

0 500 1,000 2,000 m

【凡例】 ○ 良いところ ▲ 改善すべき課題

### <現状・課題>

#### 【ア】 公共施設等が少ない

- ・生活を支える公共性の高い施設が少ない

#### 【イ】 教育・文化・福祉施設の立地

- ・地域内には朝霞市障害者ふれあいセンターや丸沼芸術の森等の教育・文化・福祉施設が立地

#### 【ウ】 国道254号バイパスの整備

- ・国道254号バイパスの整備が進められており、整備による沿道開発や隣接都市とのアクセス性の高まりにより暮らしの利便性の向上が期待される

#### 【エ】 自然資源が豊か

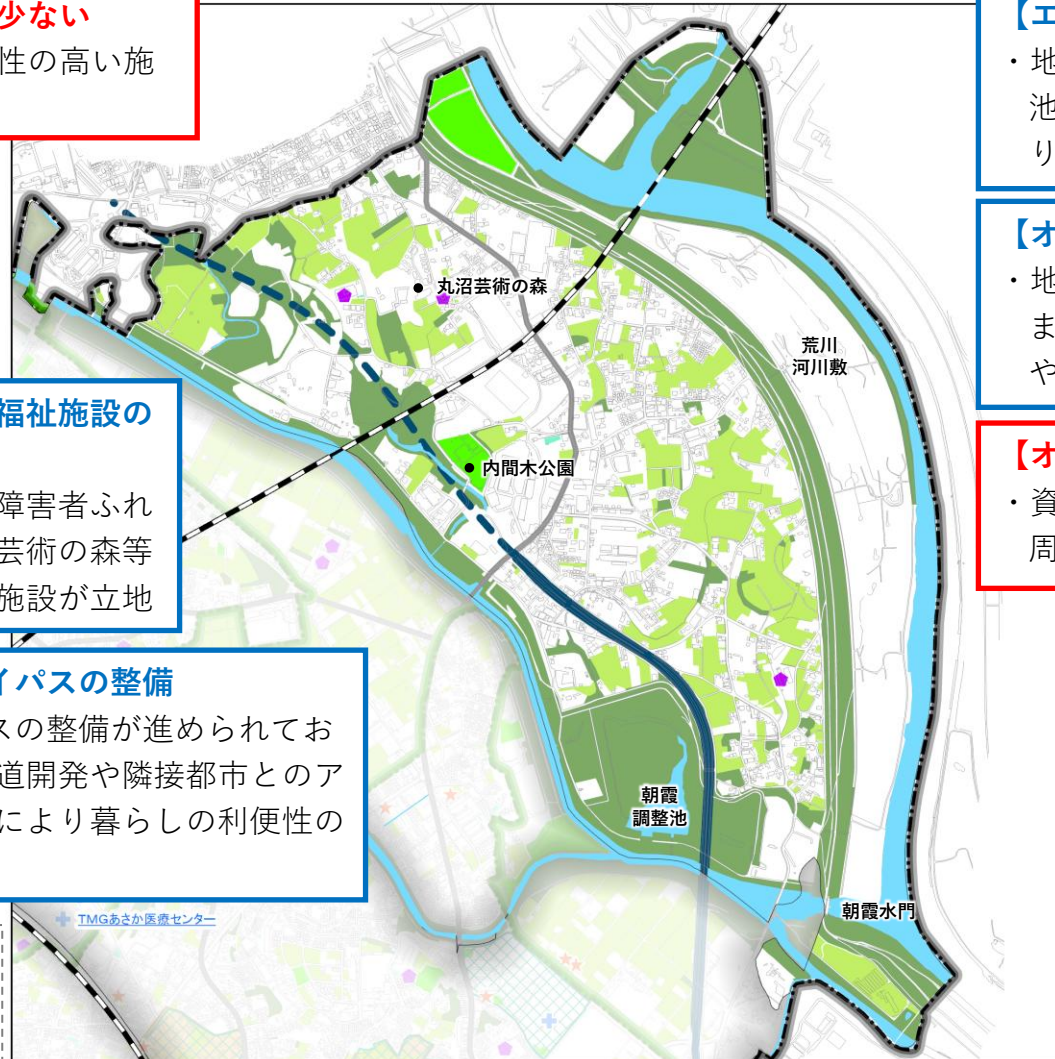
- ・地域内に荒川河川敷や朝霞調整池、内間木公園等が立地しており、自然資源が豊か

#### 【オ】 地域全域が市街化調整区域

- ・地域全域が市街化調整区域に含まれ、市街化の抑制により農地やみどりが多く残されている

#### 【カ】 地域全域が市街化調整区域

- ・資材置き場や残土置き場による周辺環境の悪化



#### 凡例

- ◆ 高齢者福祉施設
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国道
- 国道254号バイパス
- 国道254号バイパス（整備予定区間）
- 農用地
- その他自然用地
- 河川等

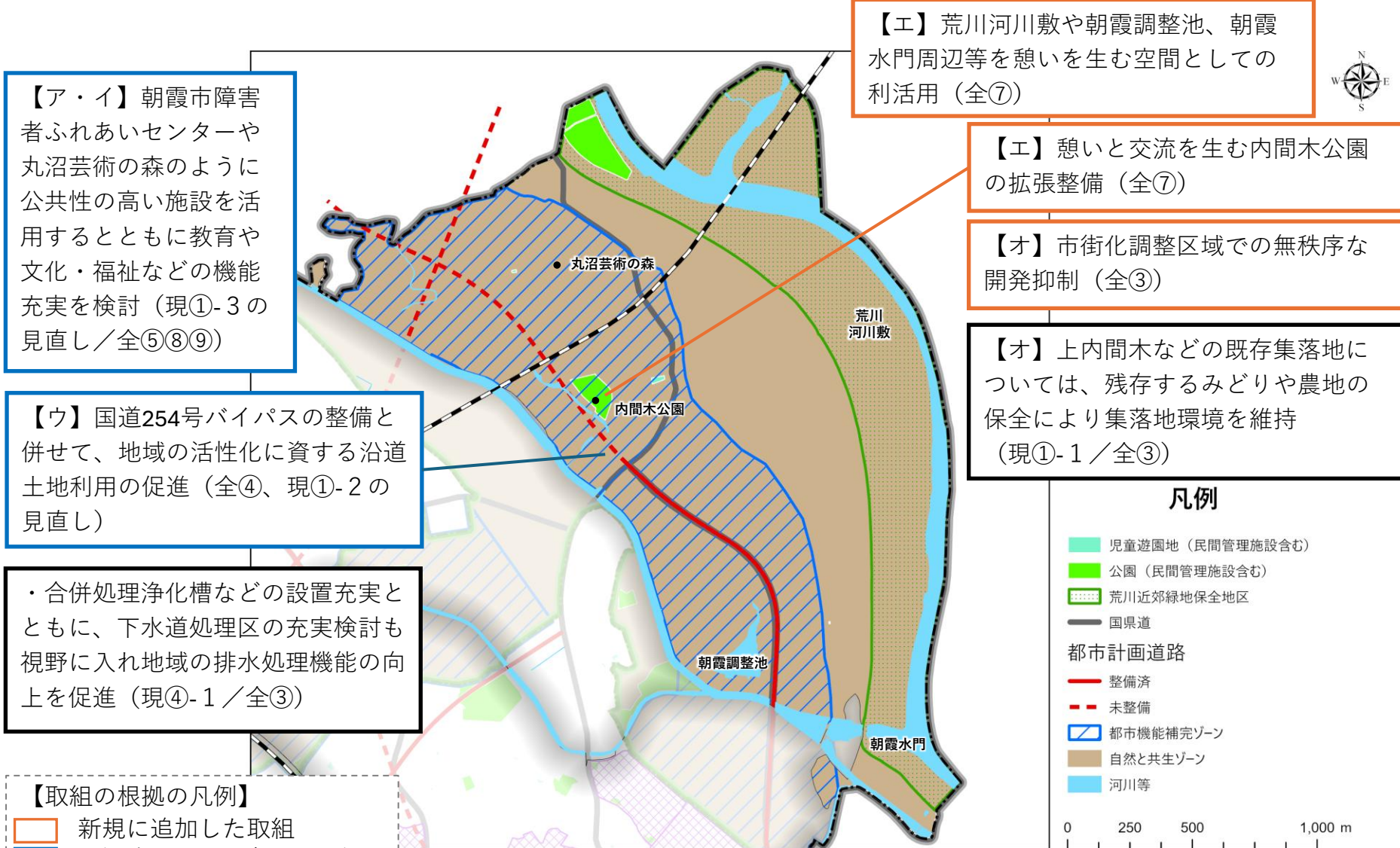
0 250 500 1,000 m

#### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。



### 【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

### <現状・課題>

#### 【ア】住宅密集地と狭あいな道路の分布

- ・宮戸、朝志ヶ丘地区などの住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
- ・狭あい道路や行き止まり道路が多く避難の阻害要因が存在

#### 【イ】公共施設が少ない

- ・生活を支える公共性の高い施設施設が少ない

#### 【ウ】地域特性に応じた地区計画が定められている

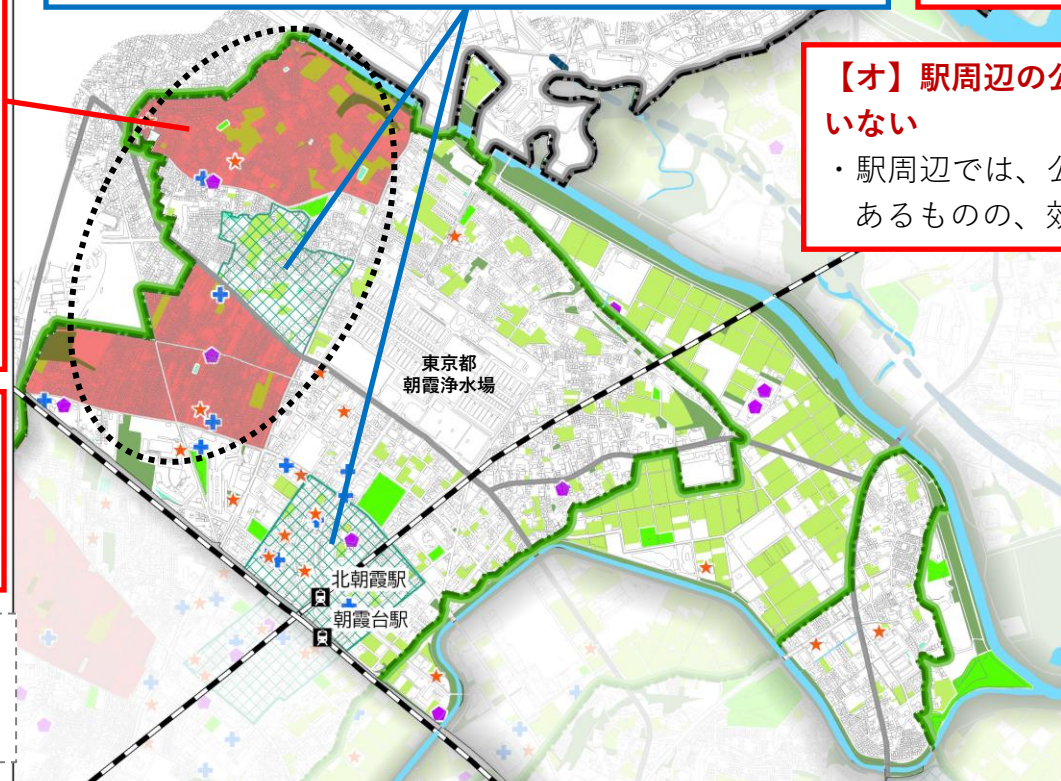
- ・駅前に商業・業務地として合理的な土地利用の実現を図るために、地区計画が定められている
- ・宮戸二丁目地区など旧暫定調整区域では良好なまちづくりを進めるために地区計画が定められている

#### 【エ】浄水場が閉鎖的

- ・地域中央部に東京都朝霞浄水場が立地しているが、地域に開かれた空間ではなく、地域の分断要因となっている

#### 【オ】駅周辺の公共空間が効果的に活用されていない

- ・駅周辺では、公園や黒目川などの公共空間があるものの、効果的に活用されていない



### 凡例

- 市街化区域
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国県道
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 農業用地
- その他自然用地
- 河川等

0 250 500 1,000 m

### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ

#### 【キ】農地やみどりが残されている

- ・市街化調整区域には多くの農地が残されている
- ・市街地内にも農地やみどりが多く残されている

#### 【カ】駅と黒目川の導線のつながりが希薄

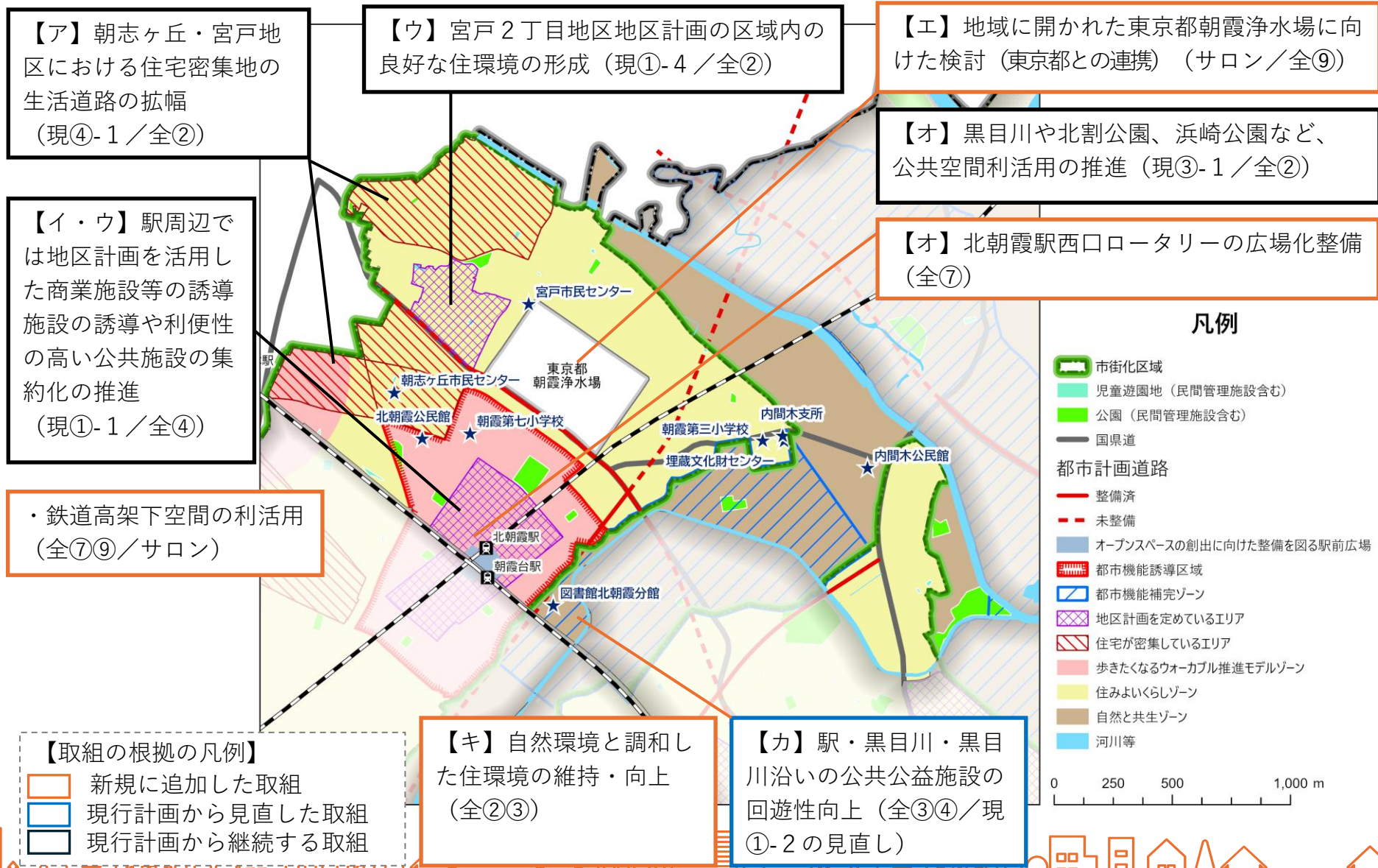
- ・駅近くに自然を感じることができる黒目川があるにもかかわらず、駅から黒目川を目的地とする人は少ない



# テーマ【私らしい暮らし】に対する地域の取組検討

北部地域

＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。



### <現状・課題>

#### 【ア】黒目川沿いに公共公益施設が立地している

- ・黒目川沿川には医療施設や大学、公共施設などが立地している

#### 【イ】農地などの緑が比較的多い

- ・市街化調整区域のみならず、市街化区域内においても生産緑地が多く分布
- ・都市公園が複数立地しており、地域の大半が公園の誘致圏域にカバーされている

#### 【ウ】住宅密集地と狭あいな道路の分布

- ・根岸台、岡地区の一部の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
- ・狭あい道路や行き止まり道路が多く避難の阻害要因が存在

#### 【エ】地域特性に応じた地区計画が定められている

- ・根岸台、岡地区など旧暫定調整区域では良好なまちづくりを進めるために地区計画が定められている
- ・あずま地区では良好な住環境の形成を図り、地域活性化に寄与する地区計画が定められている

#### 【オ】河川沿いの市街化調整区域に立地する施設周辺環境の悪化

- ・市街化調整区域には、資材置き場や残土置き場も多く、周辺環境の改善などが課題



### 凡例

- 市街化区域
- 医療施設
- 子育て支援施設
- 高齢者福祉施設
- 公園（民間管理施設含む）
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 国県道
- 国道254号バイパス
- 地区計画を定めているエリア
- 農業用地
- その他自然用地
- 河川等
- 延焼クラスター構成建物（200棟以上）

0 250 500 1,000 m

### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】黒目川周辺の病院や大学との連携（全⑨／現②-6の見直し）

【ア】黒目川周辺の自然との共存に配慮した土地利用の推進（全③／現①-4の見直し）

【イ】岡・根岸台地区については、残存する緑や農地の保全により、自然環境と調和する住環境の維持・向上（現①-1／全③）

【ウ】岡3丁目、根岸台1～4丁目、8丁目における住宅密集地の生活道路の拡幅（現④-1／全②）

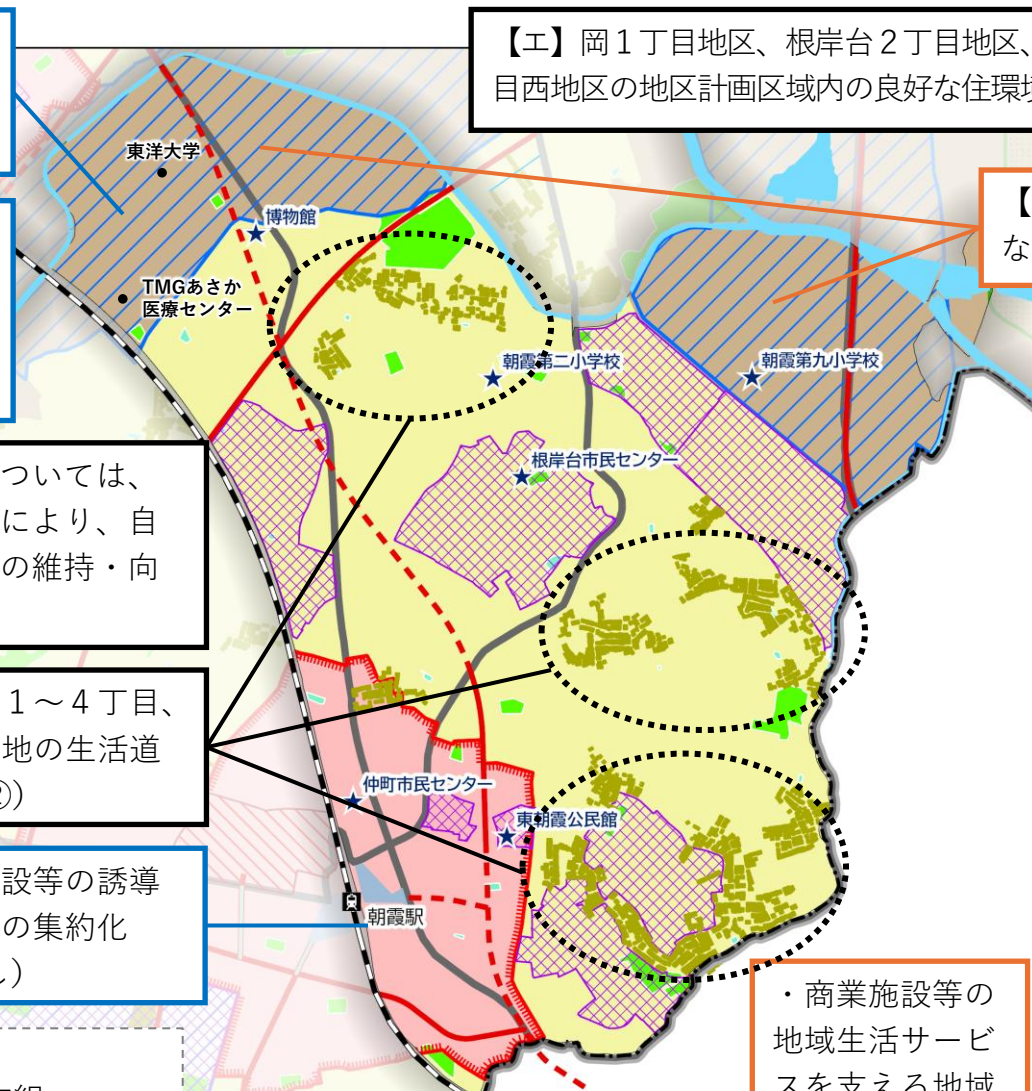
・朝霞駅周辺への商業施設等の誘導や利便性の高い公共施設の集約化（全④／現①-2の見直し）

【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

【エ】岡1丁目地区、根岸台2丁目地区、根岸台7丁目東地区、根岸台7丁目西地区の地区計画区域内の良好な住環境の形成（現③-7／全②）

【オ】市街化調整区域での無秩序な開発抑制（全③）



凡例

- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国県道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
- オープンスペースの創出に向けた整備を図る駅前広場
- 都市機能誘導区域
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 自然と共生ゾーン
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよい暮らしゾーン
- 延焼クラスター構建建物（200棟以上）
- 河川等

0 250 500 1,000 m

・駅前広場や公園などの公共空間利活用の推進（現③-1／全②）

・商業施設等の地域生活サービスを支える地域型都市機能の充実（全④）

### <現状・課題>

#### 【ア】住宅密集地と狭あいな道路の分布

- ・三原地区の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
- ・狭あい道路や行き止まり道路が多く避難の阻害要因が存在

#### 【イ】他地域に比べ、公共施設が少ない

- ・公共施設が少なく、交流の場が不足している
- ・都市公園の誘致圏にカバーされていないエリアが広い

#### 【ウ】農地やみどりが残されている

- ・市街化調整区域には多くの農地が残されている
- ・市街地内にも農地やみどりが多く残されている

#### 【エ】駅前に地区計画が定められている

- ・駅前に商業・業務地として合理的な土地利用の実現を図るために、地区計画が定められている

#### 【オ】駅と黒目川の導線のつながりが希薄

- ・駅近くに自然を感じることができる黒目川があるにもかかわらず、連続性がなく、駅から黒目川を目的地とする人は少ない



### 凡例

- 市街化区域
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国県道
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 農業用地
- その他自然用地
- 河川等

0 250 500 1,000 m

#### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】三原地区における住宅密集地の生活道路の拡幅（現④-1／全②）

【イ】空き店舗や空き家を地域の交流の場として活用（サロン／全⑥）

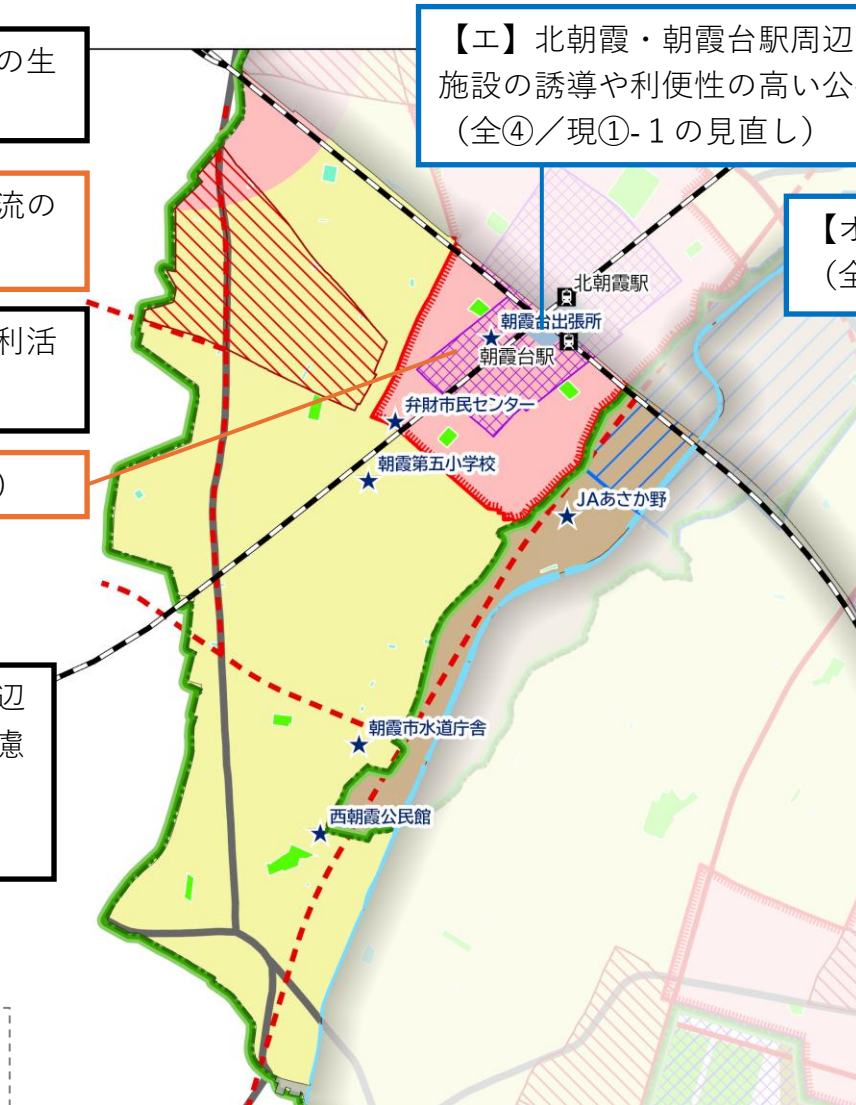
【イ】駅前広場や公園など公共空間利活用の推進（現③-1／全②）

【イ】福祉等複合施設の整備（全④）

【ウ】地区内の農地については、周辺環境との調和や保全すべき農地に配慮した計画的な宅地化などの検討（現④-2／全②）

【エ】北朝霞・朝霞台駅周辺への商業施設等の誘導  
施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化  
（全④／現①-1の見直し）

【オ】駅・黒目川の回遊性向上  
（全③④／現①-2の見直し）



凡例

- 市街化区域
- 公園（民間管理施設含む）
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 国県道
- 都市計画道路
- 整備済
- 未整備
- オープンスペースの創出に向けた整備を図る駅前広場
- 都市機能誘導区域
- 都市機能補完ゾーン
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよい暮らしゾーン
- 自然と共生ゾーン
- 河川等

0 250 500 1,000 m

【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

### <現状・課題>

#### 【ア】基地跡地をはじめ、公園が多く分布

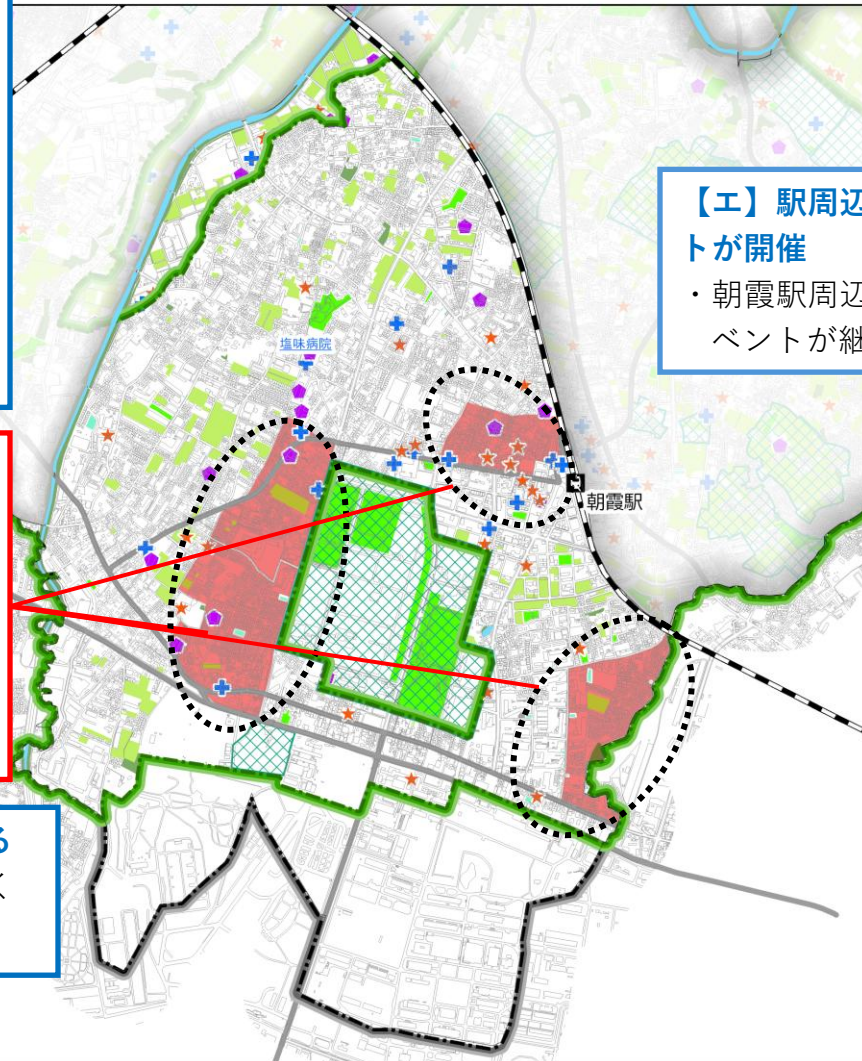
- ・地区公園や近隣公園、街区公園が多く分布しており、地域のほとんどのエリアは公園の誘致圏にカバーされている
- ・基地跡地は緑の拠点機能を備え、適切な土地利用を図るための地区計画が定められている

#### 【イ】住宅密集地と狭い道路の分布

- ・幸町、本町、栄町の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクが高い
- ・狭い道路や行き止まり道路が多く避難を阻害

#### 【ウ】農地やみどりが残されている

- ・市街地内にも農地やみどりが多く残されている



#### 【エ】駅周辺にまちづくりに関するイベントが開催

- ・朝霞駅周辺では、公共空間を活用したイベントが継続的に開催されている

#### 凡例

- 市街化区域
- 医療施設
- 高齢者福祉施設
- 子育て支援施設
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国県道
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 農業用地
- その他自然用地
- 河川等

0 250 500 1,000 m

#### 【凡例】

- 改善すべき課題
- 良いところ



＜取組＞ ※冒頭の「【ア】」等は課題の記号と対応しており、「・」全体構想の取組方針実現のための取組を表現している。

【ア】基地跡地利用計画、基地跡地地区地区計画に基づく施設整備及び土地利用の推進（全④）

【ア】公園や広場等の公共空間利活用の推進（現③-6／全②）

【イ】幸町・本町・栄町周辺における住宅密集地の生活道路の拡幅（現④-3／全②）

【ウ】地区内の農地については、周辺環境との調和に配慮した保全や計画的な宅地化などの検討（現④-2／全②）

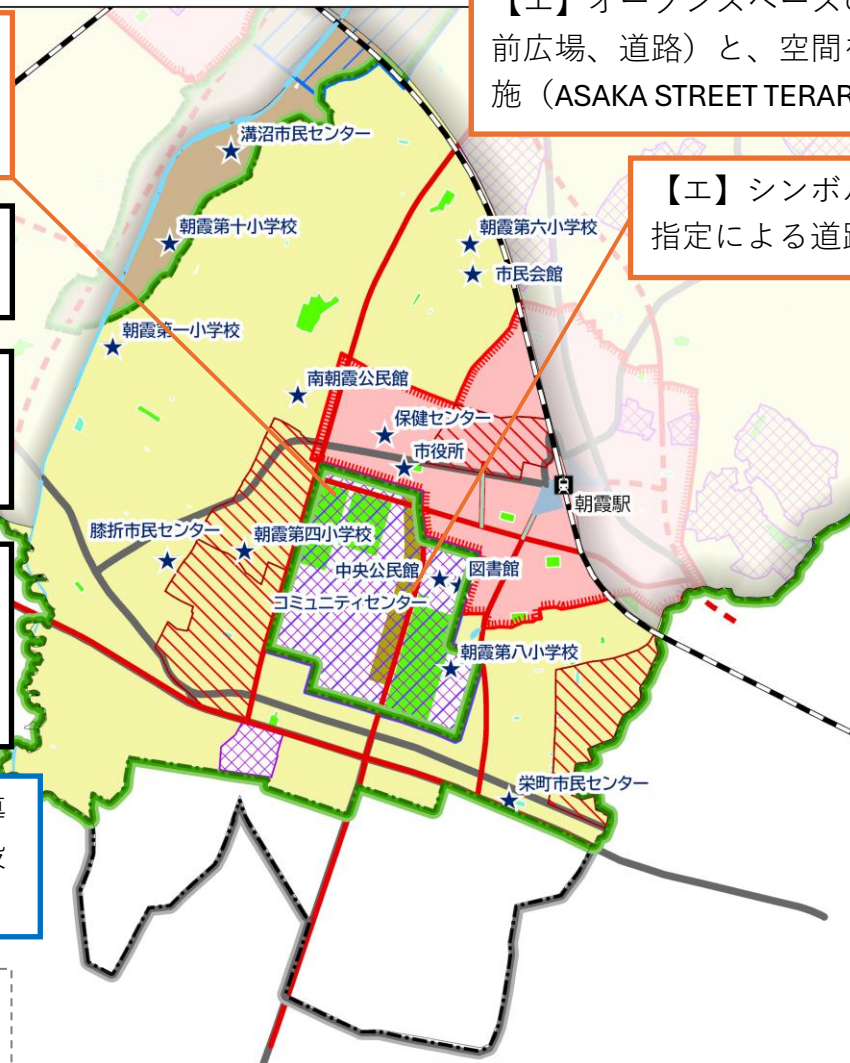
・朝霞駅周辺への商業施設等の誘導施設の誘導や利便性の高い公共施設の集約化（全⑤／現①-1の見直し）

【取組の根拠の凡例】

- 新規に追加した取組
- 現行計画から見直した取組
- 現行計画から継続する取組

【エ】オープンスペースの創出に向けた整備（駅前広場、道路）と、空間を活用したイベントの実施（ASAHA STREET TERRACE）（全⑦）

【エ】シンボルロードの歩行者利便増進道路指定による道路空間の利活用（全⑧）



凡例

- 市街化区域
- 児童遊園地（民間管理施設含む）
- 公園（民間管理施設含む）
- 国県道
- 都市計画道路
  - 整備済
  - 未整備
  - オープンスペースの創出に向けた整備を図る道路
  - オープンスペースの創出に向けた整備を図る駅前広場
- 都市機能誘導区域
- 都市機能補完ゾーン
- シンボルロード
- 地区計画を定めているエリア
- 住宅が密集しているエリア
- 歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーン
- 住みよい暮らしゾーン
- 自然と共生ゾーン
- 河川等

0 250 500 1,000 m

